

森林Jークレジット創出に向けた取組について

令和5年3月に策定した出雲市環境総合計画に基づき、脱炭素社会の構築に向けた取組の一つとして、下記のとおり森林Jークレジット創出に向けた取組を進めています。

記

1. Jークレジット制度について

(1) Jークレジット制度の目的

温室効果ガス排出削減量または吸収量をクレジットとして国が認証し、売買可能な形にする制度であり、国内での資金循環を促し、環境と経済の両立を目指すものです。

(2) 森林Jークレジットについて

持続的な森林経営活動が計画されている森林において、間伐の実施により残った立木の成長が促されることでCO₂吸収量が増加します。この増加分をクレジットとして算定し、希望する企業等に販売することができます。

森林Jークレジットのイメージ図（出典：林野庁HP）



2. 本市の取組内容

(1) クレジット創出の対象

市有林のうち間伐を施業済み及び施業予定の約170ha



(2) 事業内容及び流れ

① プロジェクトの登録

- ・対象森林の詳細調査（ポテンシャル調査）を実施し、プロジェクト計画書を作成
- ・審査機関による審査を経て、計画の登録

② J-クレジットの認証

- ・間伐の実績に基づきCO₂吸収量を算定し、モニタリング報告書を作成
- ・審査機関による審査を経て、J-クレジットの認証

③ J-クレジットの販売

内容	R7	R8	R9～R16
①ポテンシャル調査	↔		
①プロジェクト計画書作成			
①プロジェクト計画書審査・登録		↔	
②モニタリング報告書作成・審査			↔
②J-クレジット認証			
③クレジット販売			

(3) クレジット販売収入の活用について

クレジットの販売により得られた収入は、持続的な森林整備を進めるために活用する予定です。

3. 参考 これまでのJ-クレジット制度を活用した取組

本市では、住宅用太陽光発電設備を設置した者を会員とする「神話の国出雲さん倶楽部」を創設し、会員が再生可能エネルギーを使用することで削減したCO₂を市が取りまとめ、クレジット化して企業等に販売しています。販売収入は、市の森林再生事業等に活用しています。

(1) J-クレジット販売開始年度 平成26年度

(2) 創出したJ-クレジット 4,510t-CO₂（令和6年度末現在）

(3) 販売収入累計額 7,610千円（令和6年度末現在）

(4) J-クレジット購入事業者数 延べ41事業者（令和6年度末現在）